

公益財団法人循環器病研究振興財団

2023(令和5)年度 研究発表会

第29回循環器疾患看護研究助成

◆ 日 時 ◆

2024年11月9日(土) 15:00~16:00

◆ 会 場 ◆

日本赤十字看護大学 広尾キャンパス
「会場 4」

◆ 共 催 ◆

公益財団法人循環器病研究振興財団
第21回日本循環器看護学会学術集会

研究発表会の開催にあたって

この度、第21回日本循環器看護学会学術集会の会場をお借りして当財団の助成事業であります「循環器疾患看護研究助成」の研究発表会を開催することになりました。

本研究発表会を開催するにあたり多大なご尽力を賜りました、第21回日本循環器看護学会学術集会の三浦 英恵 会長をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

2019年12月施行の循環器病対策基本法により循環器病の予防、生活習慣の改善、医療機関では良質かつ適正な医療の提供など循環器病医療が大きく変わっていく本法の成立により、当財団といたしましても循環器病等に関する啓発及び知識の普及等の施策に協力するよう努めなければならないと思っております。

脳卒中、心筋梗塞などの急性疾患では看護の量的・質的な違いが患者さんの転帰に大きく影響するものであり、最近では色々な職種の専門家によるチーム医療の大切さが強調されています。

しかしながら、看護領域への公的な研究費は極めて少ないのが現状です。そこで、当財団では、「循環器疾患看護研究助成」を実施することにより、看護師の研究心を高めて頂くとともに、より質の高い看護の提供をして頂くための一助となることを願っております。

いずれの研究課題も全国公募し、専門家で構成される選考委員会において審査基準をクリアした課題に対して、一定額の研究費を助成させて頂いております。

今後もこのような助成を継続的に実施していけるよう鋭意邁進して参る所存ですので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

公益財団法人循環器病研究振興財団

理事長 峰松 一夫

プログラム

- 座 長：伊藤 文代（洛和会TQM支援センター・部長）
高田 幸千子（国立病院機構 京都医療センター・看護部長）

研究課題 1

先駆的・高度医療を提供するICUにおけるリソースナースの活用と評価

- 演 者：時廣 亜希子（国立循環器病研究センター 看護部 看護師長）

研究課題 2

東北地方の心臓病患者における除雪の在り方を考える —実態調査と除雪方法の検証—

- 演 者：鍛冶 優子（JA秋田厚生連平鹿総合病院 看護部リハビリテーション科 看護師）

研究課題 3

慢性期にある心不全患者のスピリチュアリティを支える看護ケアの現状と その関連要因の検討

- 演 者：山本 裕子（京都府立医科大学医学部看護学科 助教）

研究課題 4

2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬による食欲への影響：看護支援への示唆

- 演 者：石川 恵子（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 助教）

研究課題 5

沖縄県の病棟看護師と訪問看護師における心不全患者に対するアドバンス・ケ ア・プランニング（ACP）連携体制の構築に向けた実態調査

- 演 者：田場 あやね（琉球大学病院 看護部 看護師）

- 講 演：選考委員長 福嶋 教偉（千里金蘭大学・学長）
『総括：循環器看護に期待すること』

循環器疾患看護研究助成について

- ◆ 循環器疾患看護研究助成は平成6年(1994年)に第1回が行われ、令和6年の今年で第30回の実施となります。
- ◆ 研究助成金は20万円が5件／年となります。
- ◆ 募集等の詳細は毎年12月に財団のホームページにて情報を公開しております。

公益財団法人 循環器病研究振興財団について

- ◆ 当財団は昭和62年10月に厚生大臣(当時)の設立認可を受けて特定公益増進法人として発足し、平成20年12月の新公益法人制度の施行に伴い、平成24年3月19日に内閣府の認定を受けて、同年4月1日付で公益財団法人に移行しました。
- ◆ 循環器病に関する調査研究を実施するとともに、研究の助長奨励及び研究成果その他の知識の普及を促進し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。
- ◆ 主な事業内容は次のとおりです。

1	助成事業	① 公募研究助成 ② 指定研究助成
2	普及支援事業	① 研究成果発表 ② 学術活動支援 ③ 移植医療支援 ④ 予防啓発活動
3	調査研究事業	



公益財団法人 循環器病研究振興財団
〒564-0027 大阪府吹田市朝日町1番301-3
TEL:06-6319-8456 FAX:06-6319-8650
<https://www.jcvrf>